



ゆりのき

港区立赤坂中学校
学校だより 11月号
平成30年11月1日

赤坂中学校教育目標

・「まなび」を大切にする	・「ころ」を大切にする
・「いのち」を大切にする	・「とき」を大切にする

自己有用感から自己肯定感へ

校長 高松 政則

先週末は創立71年目を迎え、現校舎で行われる最後の学芸発表会【「It's SHOW TIME」～まだ71ことを始めよう】へ、多くの保護者の皆様、地域・学校関係者の皆様に早朝より参観いただきましたことに感謝申し上げます。これまでの伝統を引き継ぎながら、「一人一人の個性が発揮できる場」を目指して、学芸発表会実行委員会を中心として、準備をしてきました。全校生徒が一致団結しての学芸発表会は、学年・グループ・個人での発表はもとより、日ごろの学習の成果をお見せする展示も充実し、生徒たちの成長を感じさせてくれる素晴らしい発表会となりました。参観いただいた皆さんからも、たくさんのお褒めの言葉も頂戴し、生徒たちの励みにもなりました。また、改善点についてもご意見を頂戴しました。今後の課題とさせていただきます。

さて、先週火曜日から学芸発表会の前日金曜日まで、全日本中学校長会研究協議会鳥取（米子）大会に参加してきました。全国から参加された校長先生方とお話をする中で、自校の生徒の課題として、多くの学校で自己肯定感の低さという点が挙げられていました。これは、他国の同年代の生徒たちと比べた調査でもすでに明らかとなっている通り、全国的な課題ともなっています。そこで、毎年行われている全国学力学習状況調査の際に行われている意識調査の結果を本校生徒と全国で比較してみました。（一部抜粋）

Q.自分には良い所があると思いますか	全国 78.8	赤坂中 89.5
Q.先生はあなたの良い所を認めてくれていると思いますか	全国 82.2	赤坂中 94.7
Q.地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	全国 68.7	赤坂中 78.9
Q.地域の行事に参加していますか	全国 45.6	赤坂中 73.7
Q.ボランティア活動に参加したことがありますか	全国 73.6	赤坂中 84.2

この結果を見ると、自分に良い所があると回答した生徒の数が全国を10ポイント以上上回り、本校の生徒の自己肯定感の高さが読み取れます。他の項目から分析すると、ボランティアや地域の行事に参加することで、誰かの役に立っている、学級や学年で自分の役割があるなど、自分が誰かの役に立てているという感覚をもっているからであると考えられます。本校の生徒たちはボランティアや地域行事等を通して、多くの方々と関わる機会がたくさんあり

ます。その関わりの中で、相手が喜ぶ顔を見たり、また、その様子を感じたりすることでうれしくなるといった、体験を重ねています。こうした関わりの中から、自分は相手から認められている、自分が誰かを（相手）を喜ばすことができたという自己有用感の高まりによって、自分の自分に対する評価である自己肯定感の高まりにつながっていると考えています。学芸発表会での堂々とした発表を見ていただければそのことがご理解いただけると思います。中学校がこれからも、生徒一人一人が個性を発揮し、自分に自信をもって活躍できる生徒の育成を目指すとともに、赤坂地域の中心となれるよう教育活動に取り組んでまいります。ご協力ください。

月行事予定

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1日(木) 専門委員会 | 16日(金) 期末考査(理、国、保体) |
| 2日(金) 学芸実行委員会、漢字検定 | 19日(月) 期末考査(数、技家、美) |
| 5日(月) 朝礼、ふれあい週間始、3年面談始 | 20日(火) 期末考査(社、英、音) |
| 6日(火) 中央委員会 | 22日(木) 赤坂アカデミー研究日 |
| 7日(水) 区英語発表会 | 26日(月) 朝礼、避難訓練(不審者対応訓練) |
| 9日(金) ふれあい週間終、3年面談終 | 30日(金) 面談週間始 |
| 10日(土) 土曜授業日、PTA 実行委員会、数学検定 | |

11月の生活目標「自他の安全や心の健康について考えよう」

- 学校内外の安全について考えよう
- 悩みや不安なことがあれば、大人に相談して解決を図ろう。

学芸発表会(10/27)

4月に仮設校舎へ移転するため、現在の校舎・体育館で行う最後の学芸発表会でした。大勢の皆様にご来校いただき、充実した舞台発表・展示発表をすることができました。ありがとうございました。



【活躍する赤中生！】

港区明るい選挙啓発ポスターコンクール (入選) 2年 _____ くん (佳作) 2年 _____ くん

港区薬物乱用防止ポスター・標語コンクール

[ポスターの部] (佳作) 2年 _____ くん、2年 _____ さん、2年 _____ さん

[標語の部] (地区優秀賞) 3年 _____ くん⇒東京都選考会に推薦されました

港区読書感想文コンクール

(入選) 1年 _____ さん、1年 _____ さん⇒2名とも都コンクールへ応募されました